

—SYNCROOM導入手順書—

-目次-

[0.SYNCROOMってなに？](#)

[1.SYNCROOMのダウンロード](#)

[2.SYNCROOMのインストール](#)

[3.SYNCROOMの起動と設定](#)

[3-1.初回起動と設定チュートリアル](#)

[3-2.MacOS環境における設定方法](#)

[4.SYNCROOMの機能](#)

[5.MacOSの音声ルーティング例](#)

[6.関連リンクやTips等](#)

[7.困ったときにお読み下さい](#)

[付録.各メーカー毎のコントロールパネル表示例](#)

免責事項

- 1.本書は非公式のものであり、いかなる内容も不確かな記載や主観、誤植を含む場合があります。
- 2.当方は、本書の利用により利用者が被った損害又は損失などについて、一切の責任を負わないものとします。
- 3.当方は、利用者が本書の利用により、第三者に対し損害又は損失を与えた場合、一切の責任を負わないものとします。

0.SYNCROOMってなに？

SYCNROOM(シンクルーム)とは、ヤマハ株式会社が開発したネットワーク回線越しに最大5人(ルーム連結時は10人)まで歌や楽器でリアルタイムセッションを可能とするソフトウェア。高音質(44.1kHz/48kHz)、低遅延(15msec~35msec前後)、ステレオ機能といった強みがある。
※ただし、いずれもネットワーク環境や使用機材に依存する。

参考URL: <https://syncroom.yamaha.com/about/>

参考URL: https://syncroom.yamaha.com/play/faq/index_pc.html

既存の通話アプリケーション(Zoom、Discord、Skype等)では遅延が大きく、リアルタイムでのセッションの実現は困難となっております。

[スイームズ@suimuzu](#)さんによる[各種ソフトの遅延検証動画](#)

1.SYNCROOMのダウンロード

SYNCROOMをダウンロードする前に、[回線チェッカー](#)にてネットワーク回線の状況をご確認下さい。
SYNCROOMは光回線等のブロードバンド環境での有線接続が推奨されます。(Wi-Fi等の無線環境は非推奨)

※無線環境にて回線チェッカーの結果が良好だとしても、有線接続の方が通信が安定するので、可能な限り有線接続環境でのご利用をおすすめします。

ホームページよりソフトウェアをダウンロードし、任意の場所に保存してください。

ダウンロード先: <https://syncroom.yamaha.com/play/dl/>

2.SYNCROOMのインストール

ダウンロードしたファイルを解凍

生成されたファイルを実行しSYNCROOMをインストールします。

基本的に全て「実行」「同意」「次へ」で構いません。

参考URL:[Windowsの場合](#)

参考URL:[Macintoshの場合](#)

3.SYNCROOMの起動と設定

■SYNCROOMの設定に関して

SYNCROOMは利用環境に合わせて適切な設定を施す必要があります。

機材や環境が整っていても、設定が間違っていると、ラグや遅延が大きくなりリアルタイムでのセッションが困難となってしまいます。

SYNCROOMを快適に使用するために、正しい設定を理解しましょう

尚、正しい設定を施しても、ご利用の回線環境によっては音声の遅延やロスが発生する場合があります。

◆集合住宅で予め備え付けられている回線

◆一部特定のプロバイダ

回線の速度や帯域不足。

ルーム内で行われるP2P通信の規制。

ルータやプロバイダによるUDPポートの利用制限等が考えられます。

ルータの再起動や、使用する時間帯などを変えることで問題が緩和される可能性があります、根本的な解決には至りません。

必要に応じてプロバイダの変更も視野に入れてご検討下さい。

公式では下記条件の回線が推奨されています。

https://syncroom.yamaha.com/play/faq/index_pc.html

6.どの回線で使えますか。

■以下の設問から該当する項目へ進んでください

Q1.利用しているネット回線の種類は？

1.光回線且つ有線LAN環境 ……[3-1.初回起動と設定チュートリアル](#)へ

2.それ以外 ……※1

※1 無線、ADSL環境での利用は推奨しません。設定自体は可能ですが

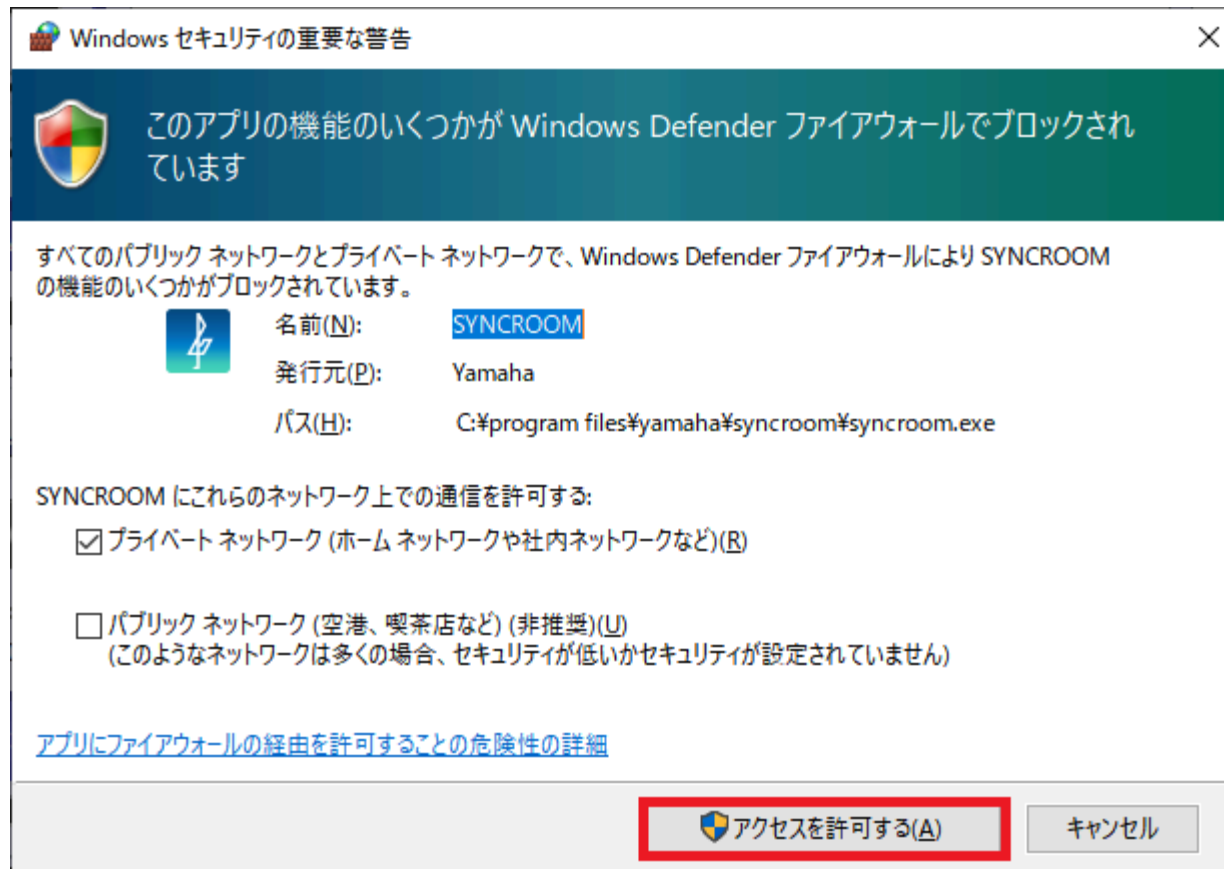
光の有線に比べ遅延や音の途切れの発生、接続そのものが安定しない恐れがあります。

設定を実施しても、快適なセッションが出来ない可能性があります。

それらを理解した上で設定を続ける場合は[3-1.初回起動と設定チュートリアル](#)へ進んでください。

3-1.初回起動と設定チュートリアル

SYNCROOMは初回起動時に以下の様なウィンドウが表示されます



「アクセスを許可する」もしくは「ブロックを解除する」をクリックします。

SYNCROOMを使うには無料のアカウント登録が必要になります。



アカウント登録をするために、「同意」にチェックを入れ、「ログインに進む」を押下して下さい。

ブラウザが起動し、下記のログイン画面が表示されます。



The image shows a web page titled "ログイン・アカウント作成" (Login / Account Creation). It contains two main sections for login and account creation, separated by a vertical line.

Left Section: メールアドレスを利用する (Login using email address)

- Text: ログインすると各サービスの便利な機能をご利用いただけます。
- Text: ※ヤマハ オンラインメンバーから会員情報を紐づけされる方は「メールアドレスを利用する」からログインをお願いします。
- Form fields: メールアドレス (Email address), パスワード (Password).
- Buttons: ログイン (Login), メールアドレスでアカウント作成 (Create account with email address).
- Text: パスワードを忘れた方はこちら (Click here if you forgot your password), FAQ・お問い合わせ (FAQ / Contact Us).

Right Section: ソーシャルアカウントを利用する (Login using social account)

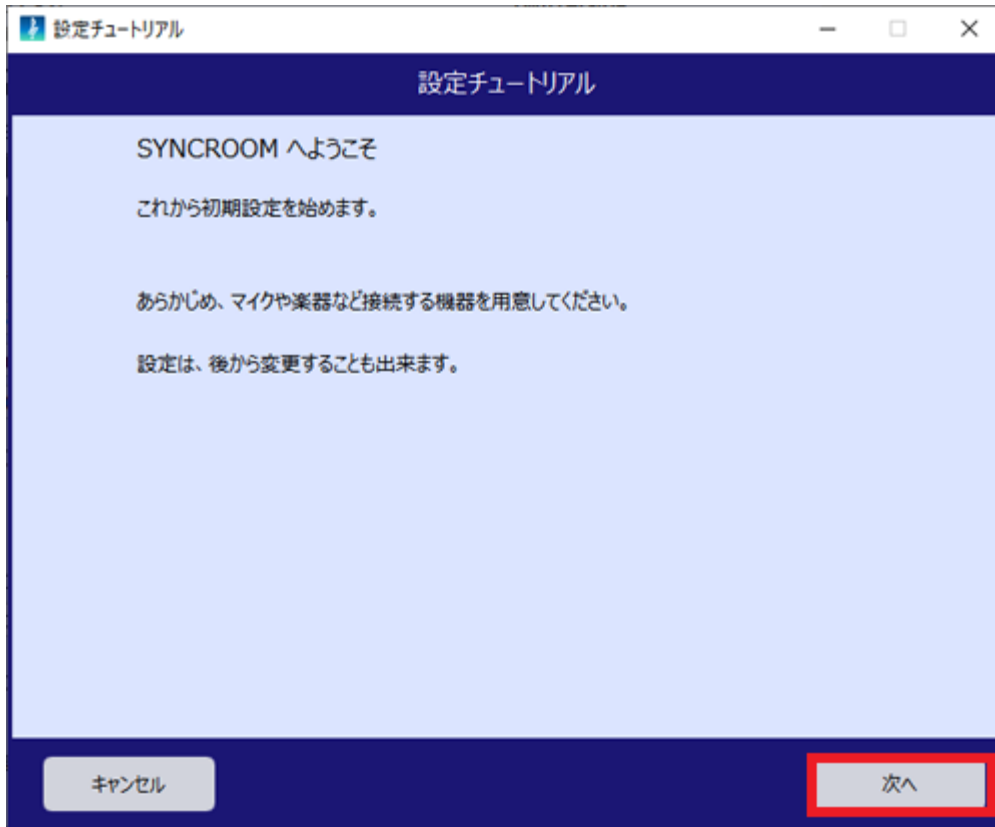
- Buttons: Facebook, Yahoo!, Google, LINE, Twitter.
- Text: ※許可なく投稿することはありません (We do not post without permission).
- Bottom Section: キャリアアカウントを利用する (Login using career account)**
- Buttons: dアカウント (dAccount), au ID, My SoftBank 認証 (My SoftBank Authentication).

Between the two main sections, the text "または" (or) is displayed.

任意のメールアドレス、又は各種ソーシャルアカウントにてアカウントを作成して下さい。

※ヤマハオンラインメンバーに登録済みのメールアドレスとソーシャルアカウントに紐づいているメールアドレスが同じ場合、アカウントの作成・ログインに失敗します。
ヤマハオンラインメンバーに登録した際のメールアドレス及びパスワードにてログインして下さい。

アカウントの作成／ログインに成功すると、初回起動時のみチュートリアル画面が表示されます。



「次へ」を押してください

設定チュートリアルに従い、初期設定を実施してください。
Windows環境とMac環境でそれぞれ設定方法が異なります。
下記を確認しながら設定を実施して下さい。

【Windows環境】

Q2.ASIO対応のオーディオ・インターフェースを持っていますか？

- 1.ある …[こちらへ](#)
- 2.ない …[こちらへ](#)
- 3.なにそれ？ …**下記を確認してください。**

簡単に説明すると、「音声の入出力の遅延を減らす規格」(ASIO-アジオ-)に対応した「マイクや楽器を接続するための機材」(インターフェース)という意味です。

Windows環境でSYNCRROOMを使用する場合は、ASIO対応インターフェースの使用が推奨されます。
下記公式のFAQにて詳しく説明されています。そちらも併せて確認してください

[よくあるご質問](#)

- 3.Windowsで利用する場合は **ASIO**ドライバが推奨とのことですが、**ASIO**ドライバとは何ですか。
- 4.推奨のオーディオインターフェース機器としてはどのようなものがありますか。

紹介されている物以外にもASIOに対応したインターフェースは多数あります。
所有しているインターフェースがASIO対応か不明な場合は
各メーカーのホームページでASIOというキーワードで確認してみてください。

ASIO対応デバイスの一例: [付録.各メーカー毎のコントロールパネル表示例](#)

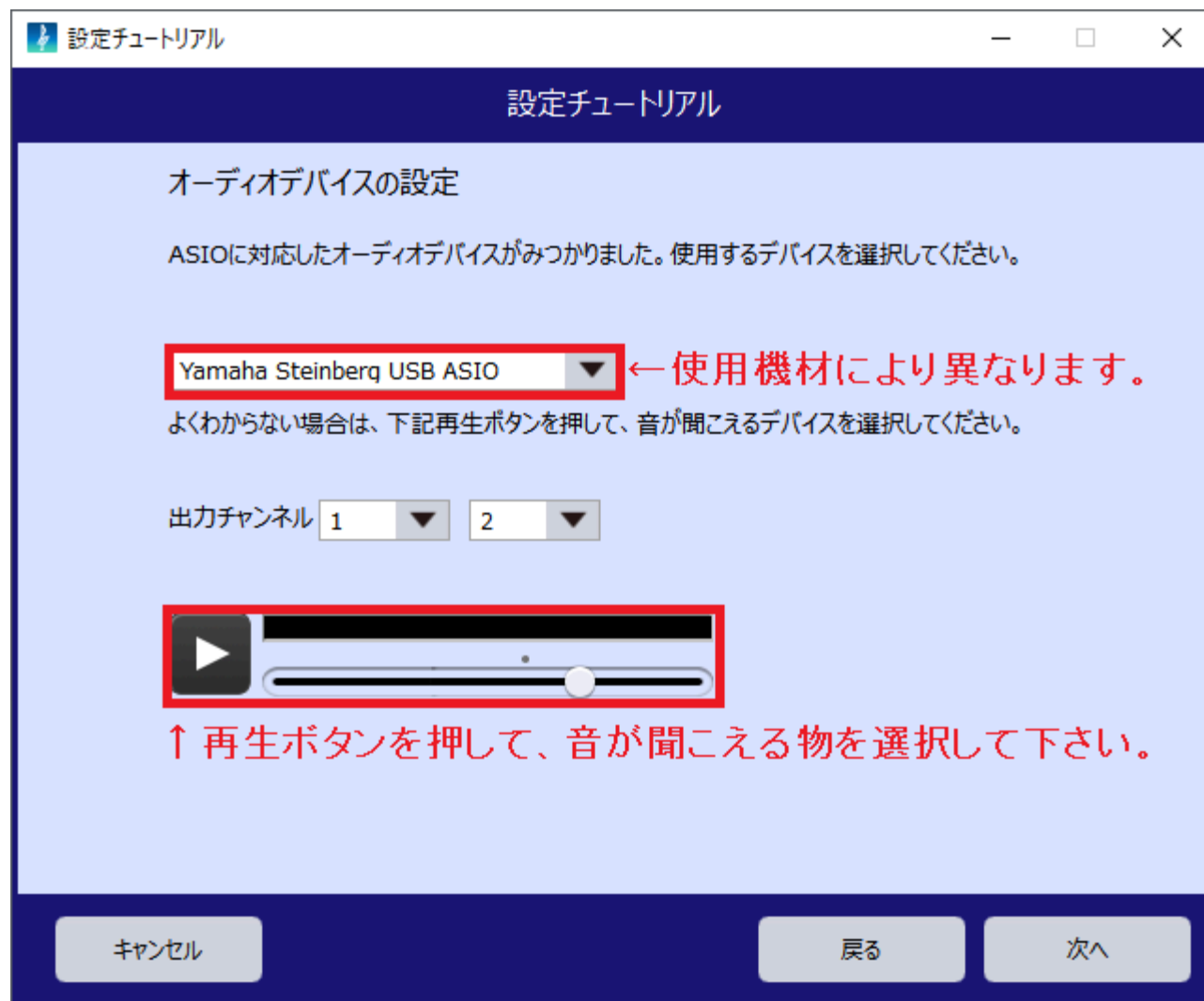
一部で人気を誇る**SoundBlaster Play**、**X-Fi Go**、**X-Fi Go Pro**等は**ASIO非対応**です。

【Mac環境】 …[こちらへ](#)

◆オーディオデバイスの設定 (ASIOに対応したオーディオデバイスがある場合)

画面のプルダウンリストから、**SYNCREROOM**で使用するデバイスを選択。

▶ボタンを押下し、スピーカーやヘッドフォンから正常に音が再生されることを確認してください。



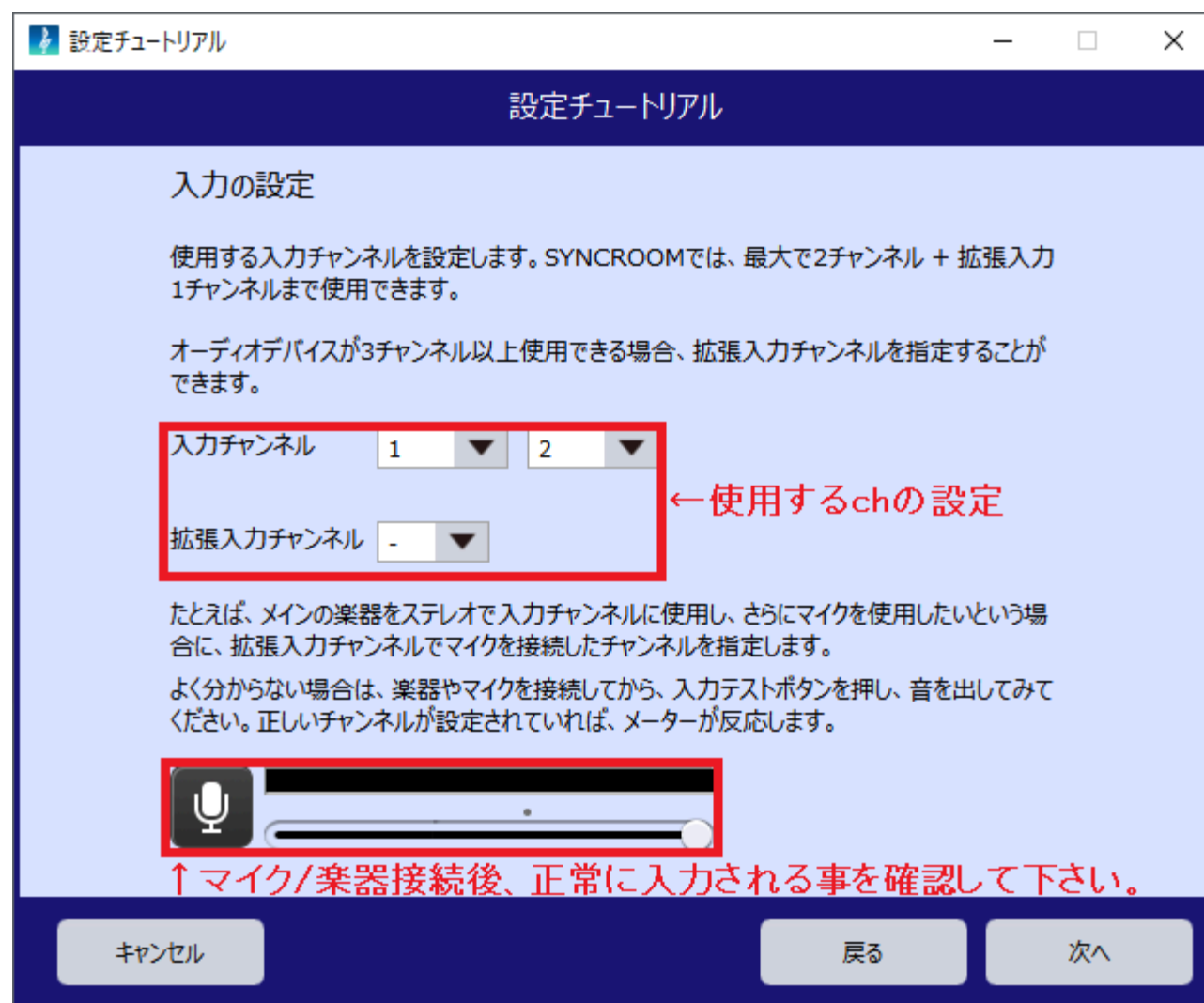
※ASIOに対応したオーディオデバイスが表示されない時

デバイスが無効になっているか、ドライバが適切にインストールされていないおそれがあります。

デバイスマネージャ等で状態の確認や、必要に応じてドライバの再インストール等を試みて下さい。

◆入力の設定

画面中央のプルダウンリストから、SYNCROOMで使用するマイクや楽器を接続している入力chを選択。マイクボタンを押下し、マイクや楽器から正常に入力できることを確認して下さい。



設定チュートリアル

入力の設定

使用する入力チャンネルを設定します。SYNCROOMでは、最大で2チャンネル + 拡張入力1チャンネルまで使用できます。

オーディオデバイスが3チャンネル以上使用できる場合、拡張入力チャンネルを指定することができます。

入力チャンネル 1 2

拡張入力チャンネル -

←使用するchの設定

たとえば、メインの楽器をステレオで入力チャンネルに使用し、さらにマイクを使用したいという場合に、拡張入力チャンネルでマイクを接続したチャンネルを指定します。

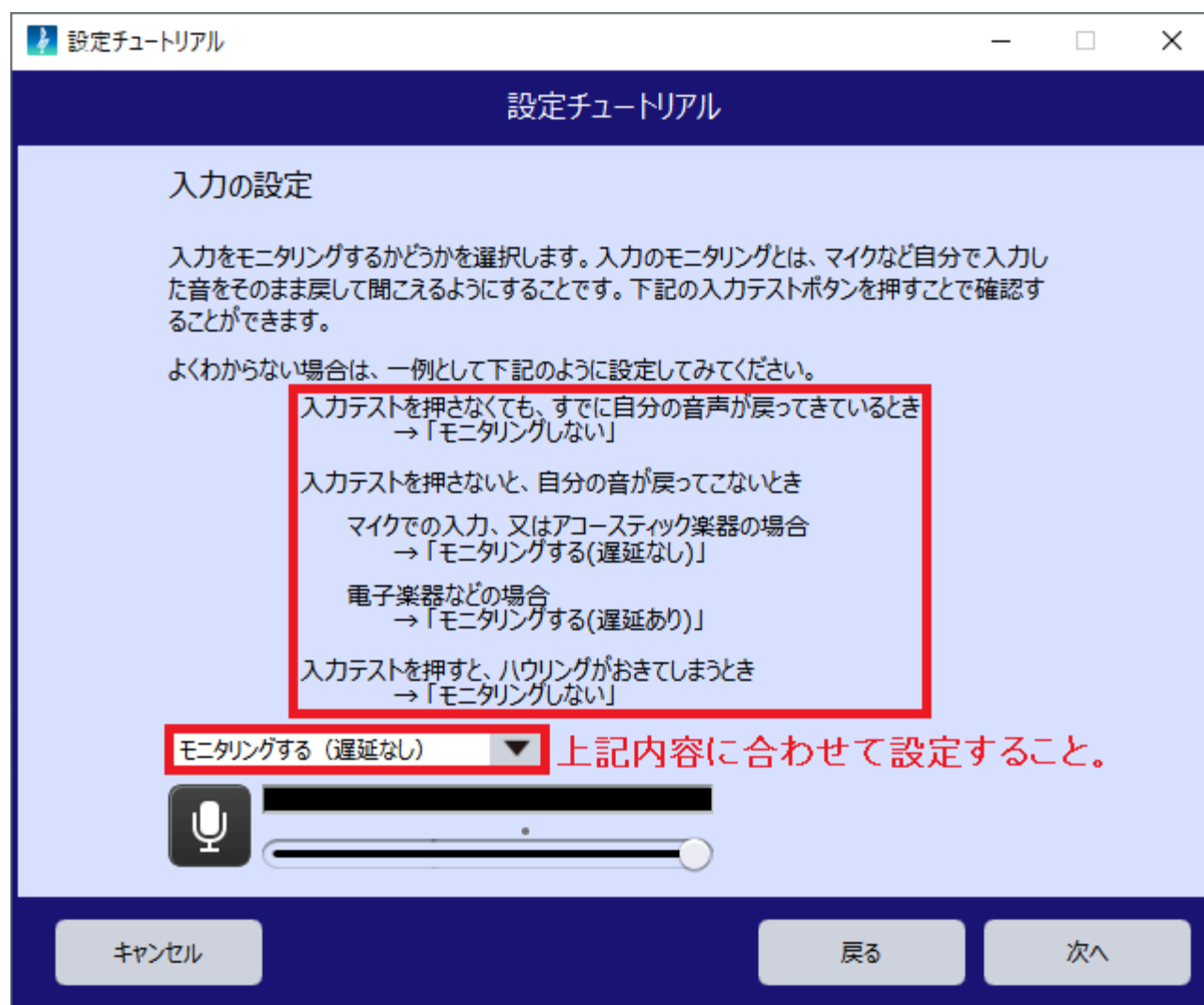
よく分からない場合は、楽器やマイクを接続してから、入力テストボタンを押し、音を出してみてください。正しいチャンネルが設定されていれば、メーターが反応します。

↑マイク/楽器接続後、正常に入力される事を確認して下さい。

キャンセル 戻る 次へ

◆モニタリングの設定

自分の入力(マイクや楽器の音)をSYNCROOMでモニタリングするかどうかの設定。
プルダウンリストからモニタリングの設定を実施。



【ワンポイント！】

SYNCROOMでセッションを快適に行うにあたり、全体の音量バランス調整が非常に重要になります。
特に不都合がない限りは、SYNCROOMでモニタリングすることを推奨します。

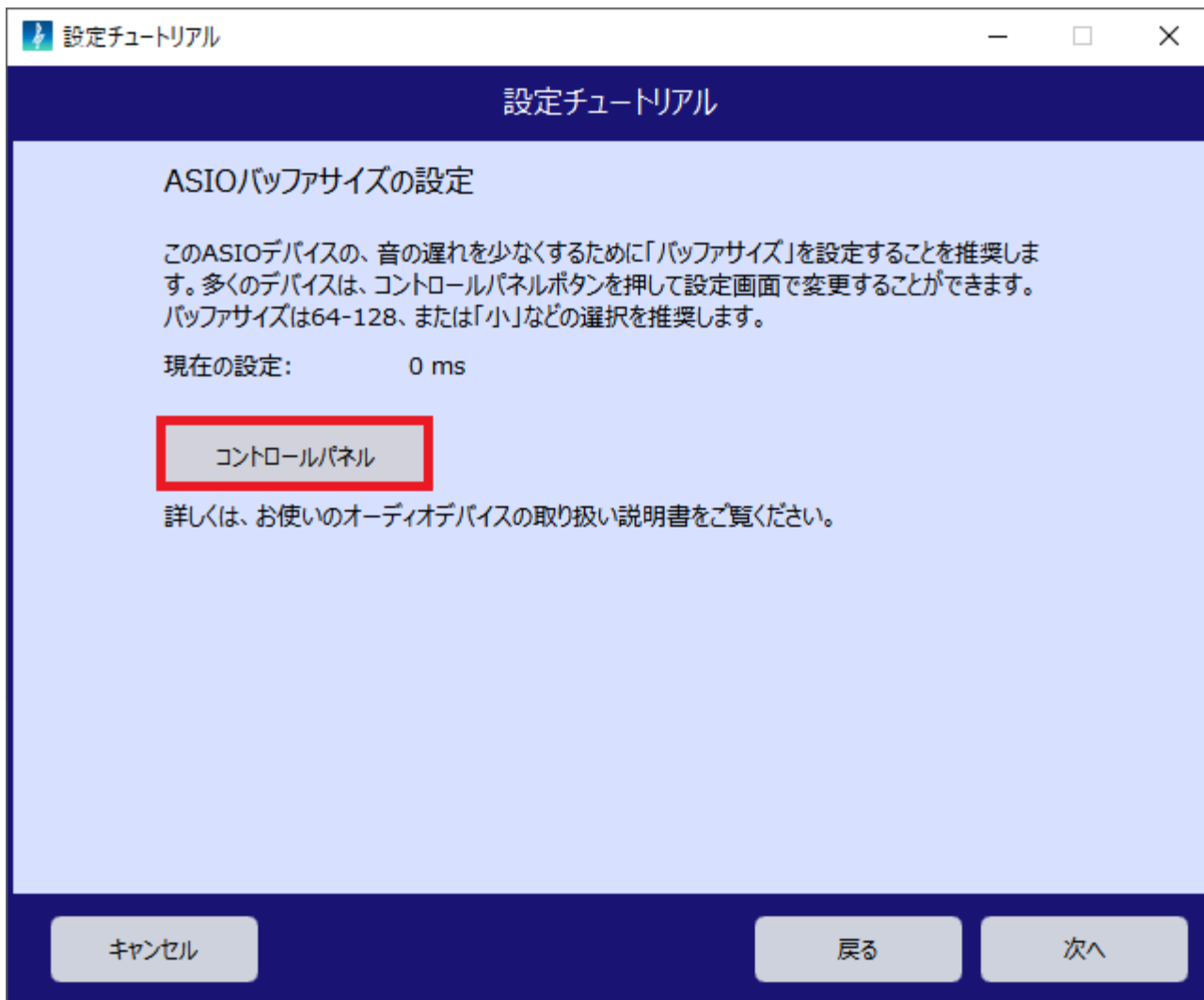
SYNCROOM側でモニタリングを有効にした際、モニタリング音が二重に聞こえる場合があります。
その際は、使用しているオーディオインターフェースのモニタリングが有効になっている恐れがありますので、オーディオインターフェース側のモニタリングを無効にしてください。

◆ステレオ入力の設定

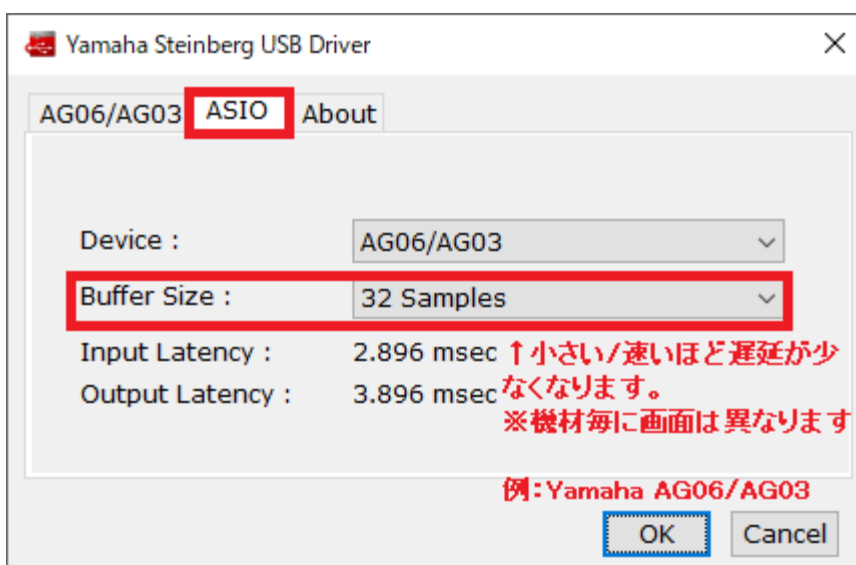
入力の設定にて指定した2つの入力chを、ステレオとして使用するかの設定
自身の環境に合わせて設定(不明な場合はチェックしない)

◆ASIOデバイスの設定(バッファサイズ調整)

コントロールパネルをクリックし、表示された画面でバッファサイズの調整して下さい。



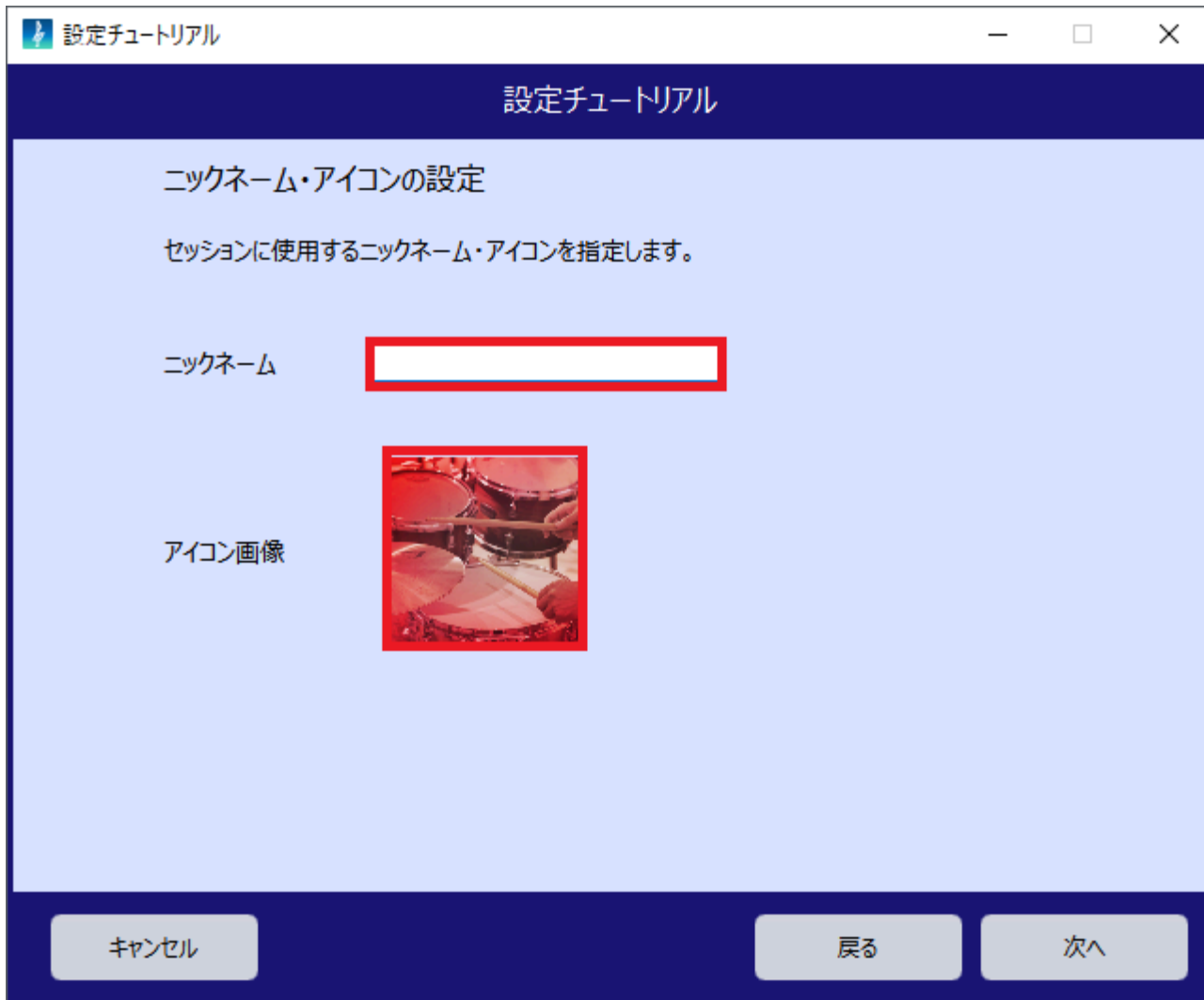
【参考画像】Yamaha AG06 設定画面



※音切れ等が発生した場合は、バッファサイズを1つずつ上げて音が安定する最適値に調整して下さい。

◆ニックネーム、アイコンの設定

SYNCROOMで使用するニックネームとアイコンを設定して下さい。



設定チュートリアル

ニックネーム・アイコンの設定

セッションに使用するニックネーム・アイコンを指定します。

ニックネーム

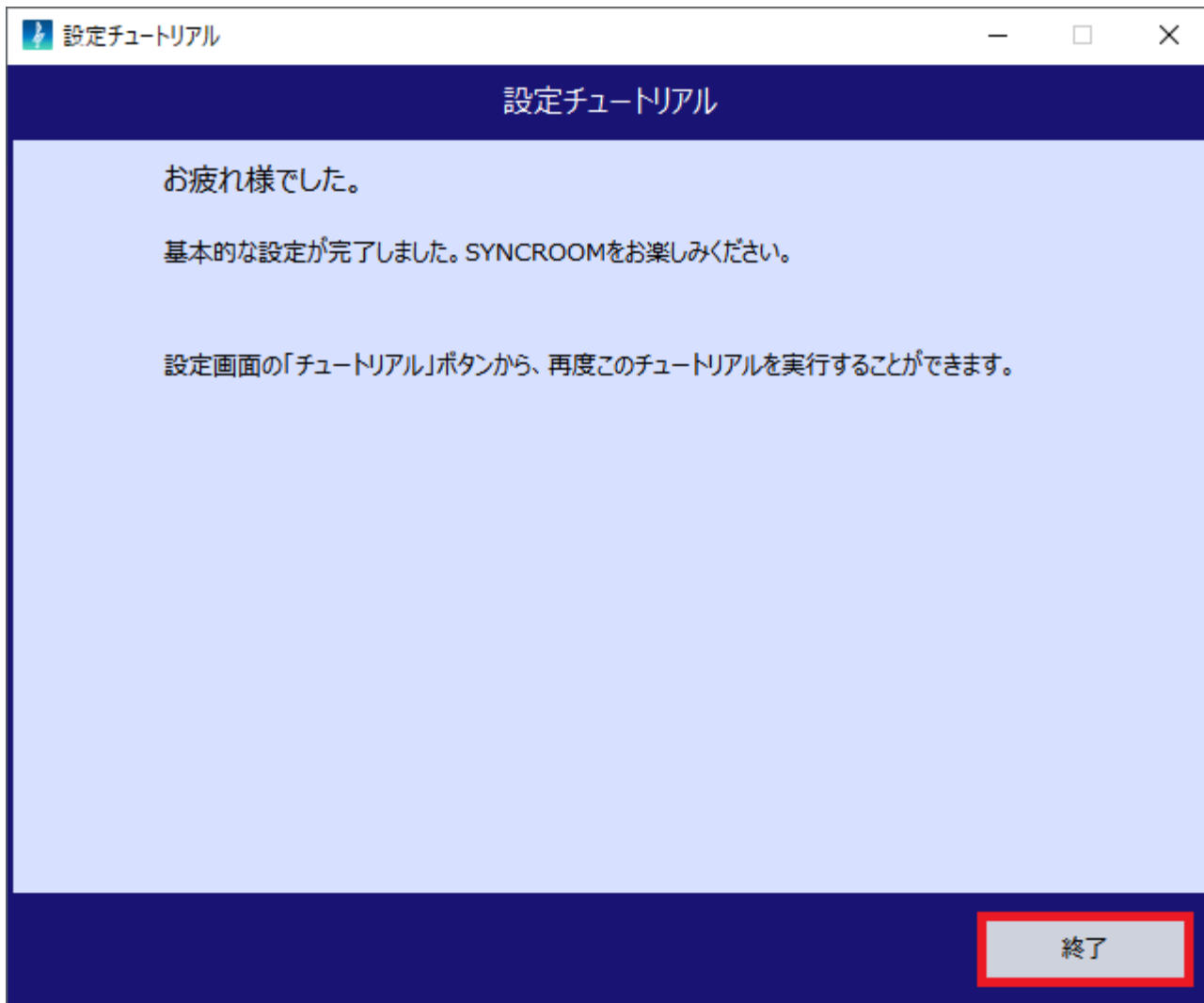
アイコン画像

キャンセル 戻る 次へ

【ワンポイント！】

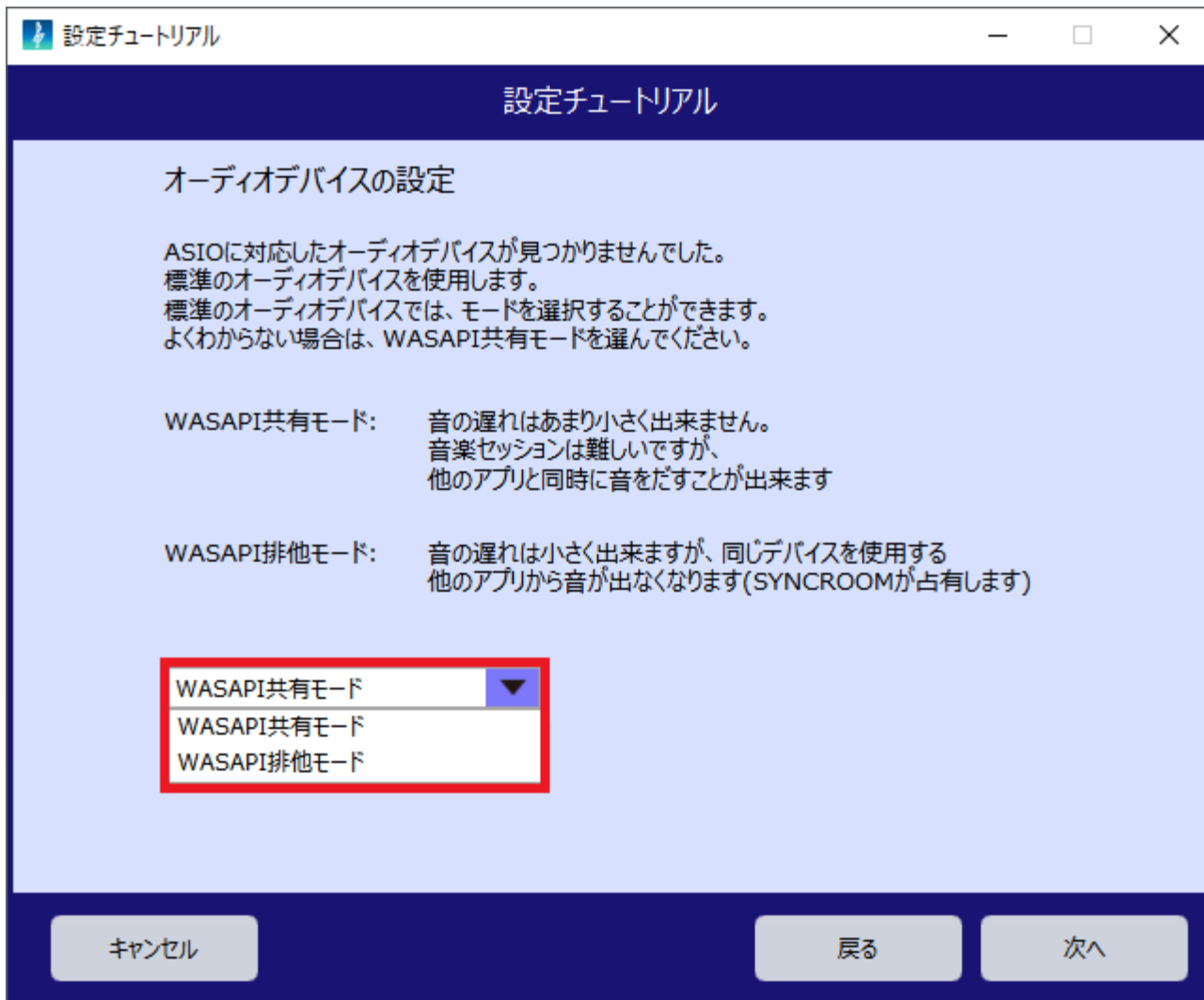
Twitter連携機能を使用することで、アイコンをTwitterで使用しているアイコンに変更できます。

以上で設定チュートリアルは終了です。「終了」ボタンを押下して下さい。



◆オーディオデバイスの設定 (ASIOに対応したオーディオデバイスがない場合)

プルダウンメニューより「WASAPI共有モード」か「WASAPI排他モード」選択して下さい。



WASAPIを選択した場合、「DirectSound」より遅延が小さいため、快適にセッションが出来ます。
「WASAPI共有モード」と「WASAPI排他モード」それぞれの特徴は以下の通りです。

●WASAPI共有モード

- ・WASAPI排他モードよりも遅延が大きくなる。
- ・他のアプリケーションと同時に使用できる。(同時に使用するアプリケーションの音も出るようになる。)

●WASAPI排他モード

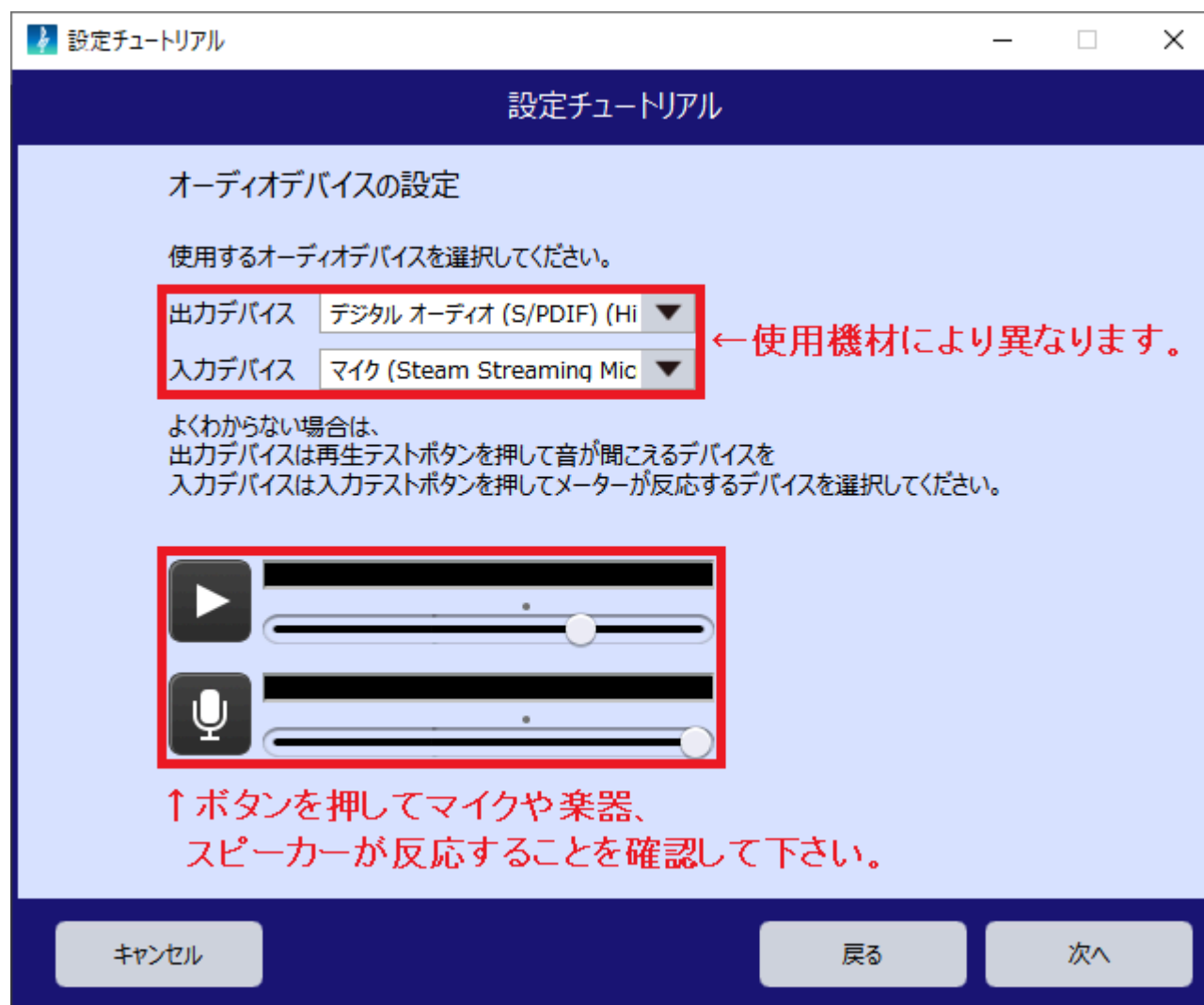
- ・WASAPI共有モードよりも遅延をより小さくすることができる。
- ・SYNCROOM を使用中のとき、他のアプリケーションの音が出なくなる。

※「音質」や「遅延」を考慮した性能は、一般的に

ASIO > WASAPI排他モード > WASAPI共有モード > DirectSound の順で良いとされます。

ASIOに対応したオーディオデバイスがある場合はそちらを使用することをおすすめします。

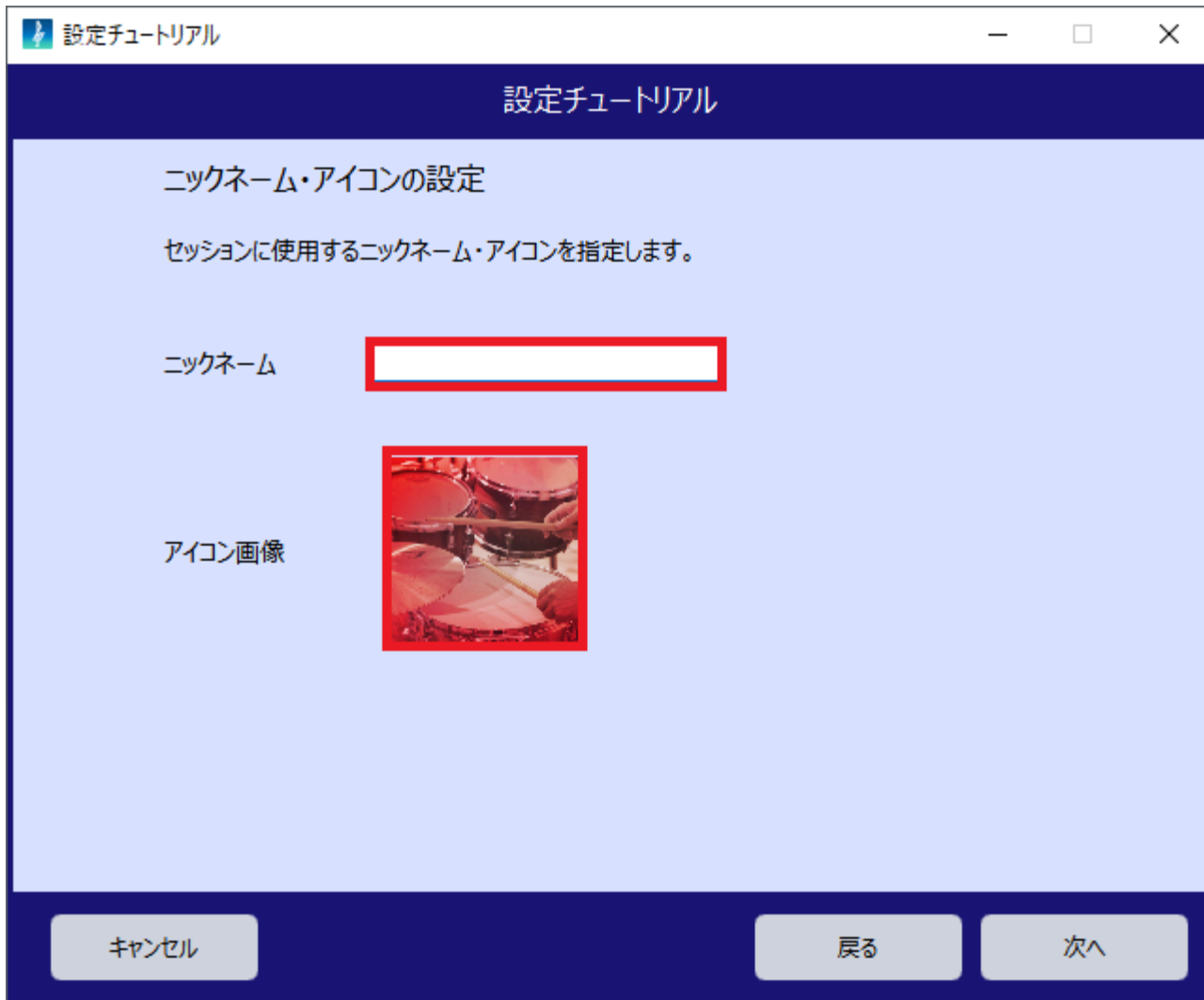
画面のプルダウンリストから、**SYNCRROOM**で使用するデバイスを選択。



▶ボタンを押下し、スピーカーやヘッドフォンから正常に音が再生されることを確認してください。
マイクボタンを押下し、マイクや楽器から正常に入力できることを確認してください。

◆ニックネーム、アイコンの設定

SYNCROOMで使用するニックネームとアイコンを設定して下さい。



設定チュートリアル

ニックネーム・アイコンの設定

セッションに使用するニックネーム・アイコンを指定します。

ニックネーム

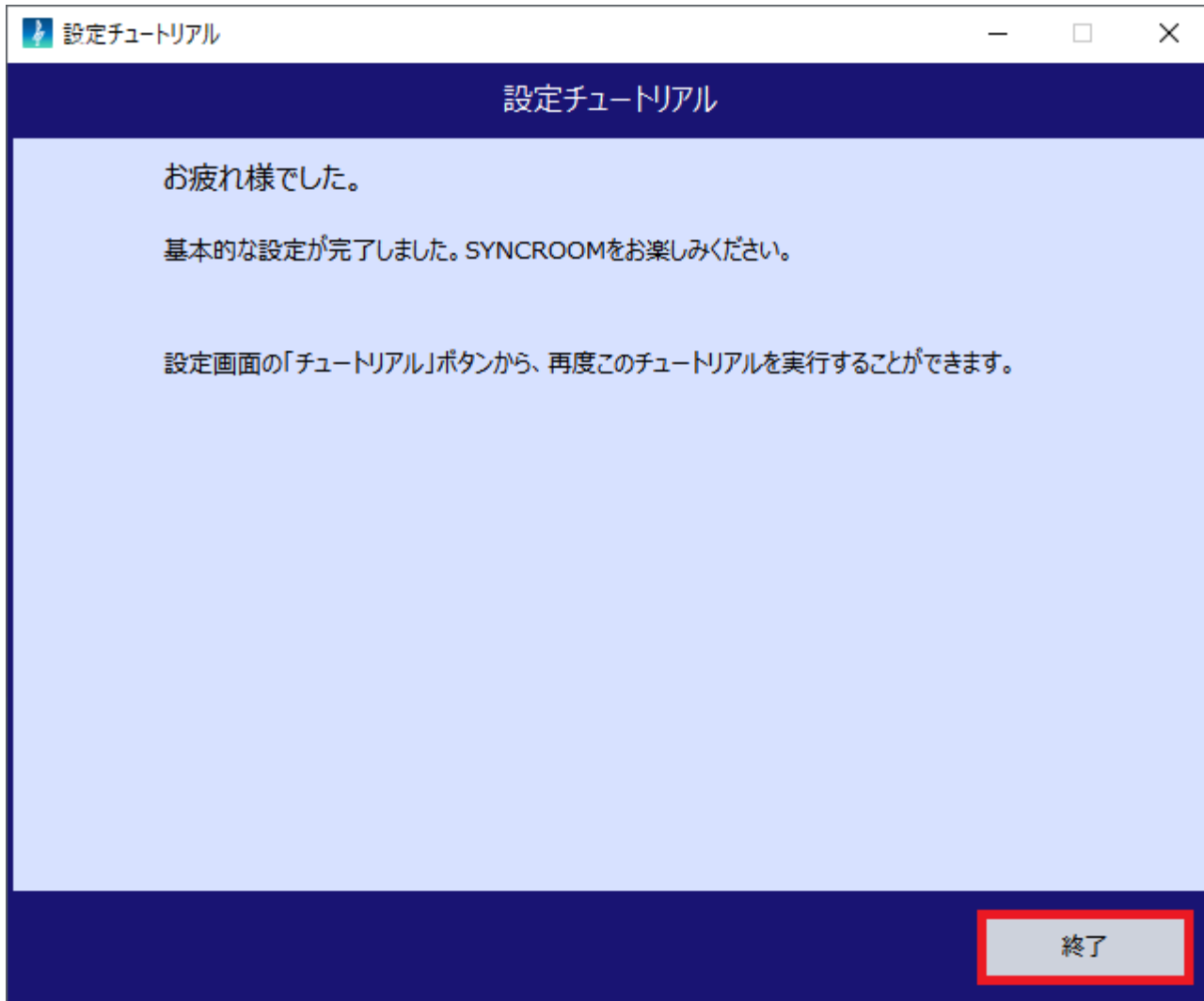
アイコン画像

キャンセル 戻る 次へ

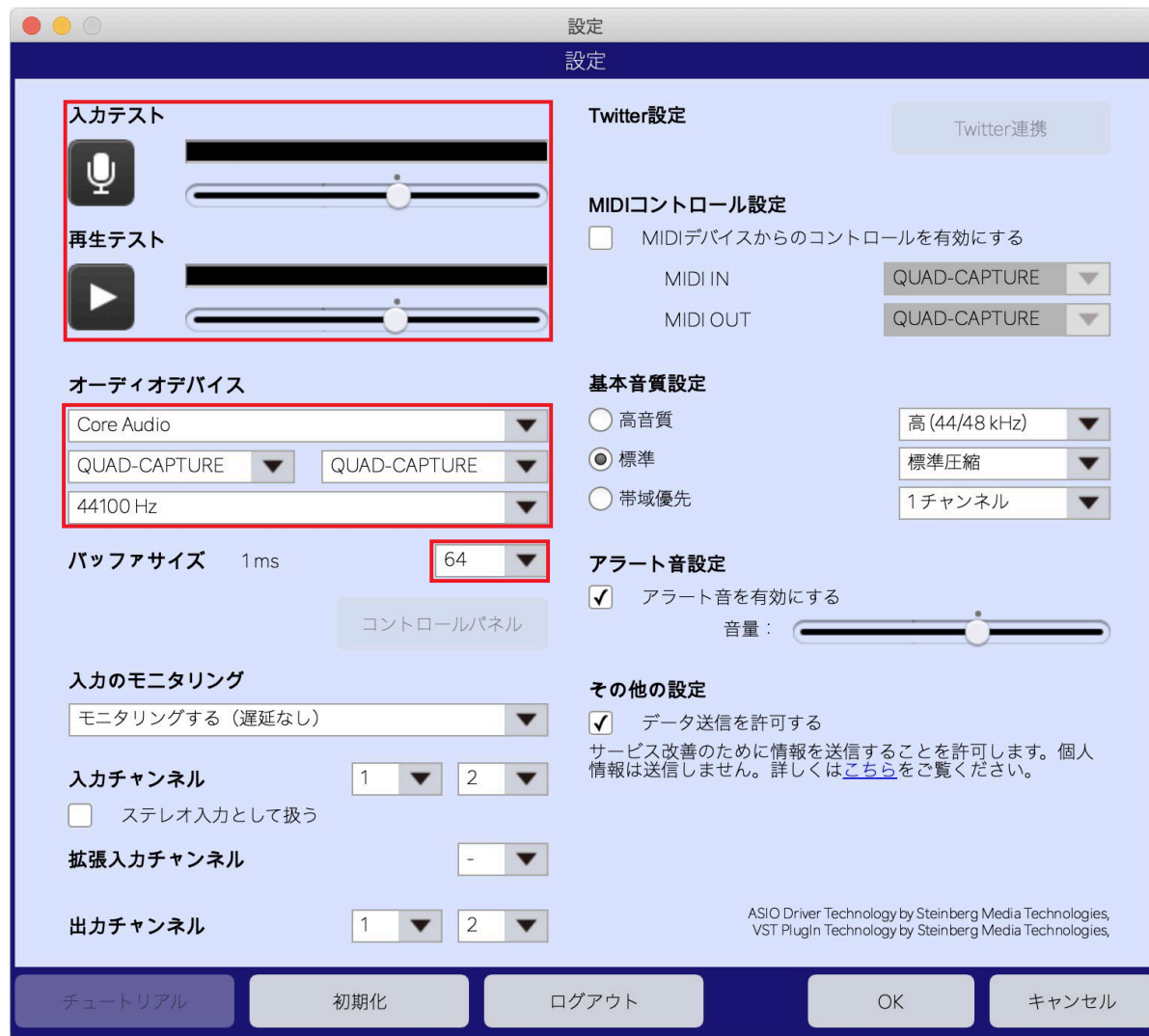
【ワンポイント！】

Twitter連携機能を使用することで、アイコンをTwitterで使用しているアイコンに変更できます。

以上で設定チュートリアルは終了です。「終了」ボタンを押下して下さい。



3-2.MacOS環境における設定方法



マイクやヘッドフォン等がちゃんと接続されていることを確認します。

1. SYNCROOMの画面左下にある「設定」ボタンをクリックします。
2. 設定画面中央のドライバ設定から
「CoreAudio」「SYNCROOMで使用するデバイス」「48000Hz または 44100Hz」を選択します。
3. 「バッファサイズをなるべく小さく」設定します。
4. マイクテスト、再生テストのボタンを押して、音が正しく聞こえるか確認します。

※音がブツブツしたり、聞こえない場合

バッファサイズを一つずつ大きくします。

再度マイクテスト、再生テストを行います。

この手順を音が正しく聞こえるまで繰り返してください。

OKボタンを押下して設定画面を閉じます。

4.SYNCROOMの機能

「[SYNCROOM マニュアル](#)」を熟読下さい。

Q.相手(自分)の音が聞こえない。

A.ドライバ設定、バッファサイズ、マイクやヘッドフォン等のケーブルの接続を見直してください



Q.特定の相手のレイテンシーが表示されない。音が聞こえない。

A.再入室する、通信設定を変えてみる、PCを再起動する、ルータを再起動する。

Q.入室しても誰も表示されず、しばらくするとサーバから切断される。

A.お互いの回線の相性問題の可能性が高いです。以下をお試し下さい。

再入室する、通信設定を変えてみる、PCを再起動する、ルータを再起動する。時間帯を変えてみる。

それでもダメな場合: 自身、もしくは相手の回線が**DS-Lite**や**v6プラス(MAP-E)**相当の場合、特定のユーザ(IPv4)と通信できず切断されている可能性が高いです。

【DS-LiteやV6プラス(MAP-E)に関して】※公式より抜粋

IPv6のネットワークを経由してIPv4の通信を行うサービスですが、IPv4にしか対応していない回線のユーザーと接続する場合には、使用できるポート数に制限がある、UPnPによるポートマッピングが使用できない(または制限がある)などの理由により、原則として推奨いたしません。接続相手もIPv6に対応している場合には、特に問題はありません。

V6プラスか確認するにはこちらのサイトが参考になります。

[私は現在v6プラスで繋がっていますか？](#)

プロバイダを確認するにはこちらのサイトが参考になります。

[確認君+](#) ※一部ケーブルテレビ等の場合は判別不可

【暫定回避策】

ルーム内のホストと通信できるが場合、ルーム連結機能を使い、ホストのみと通信することで、暫定的に問題を回避することが出来ます。

※ルーム連結機能は、最低でもどちらかが公開ルームである必要があります。

Q.「デバイスの開始に失敗しました。」と表示される。

A.以下を確認してください

- ・マイク、ヘッドフォン、USB、電源ケーブル等が正常に接続されているか確認する
- ・オーディオデバイス側の設定やスイッチでサンプリング周波数が**44.1kHz**か**48kHz**であるか確認する
- ・**Skype**、**DAW**等のオーディオデバイスを使用するアプリケーションを終了する
- ・不要なアプリケーションや、ブラウザ、オーディオデバイスを使用する機能(Skype等)を停止する
- ・オーディオデバイスのケーブル抜き差し、電源のオフ/オンをする
- ・別のUSBポートに接続する。USBハブ等に接続している場合は直接**PCのUSB**ポートに接続する
- ・PCを再起動する、オーディオデバイスのドライバを再インストールする

Q.自分(相手)の音が返ってくる。

A.ステレオミキサーやスピーカーキャプチャを無効にしてください

Q.どうやってステレオミキなしで**SYNCROOM**の音を録音、配信するの？

A.配信ツールのマイクをYamaha **SYNCROOM Driver**に設定しましょう。

Q.Yamaha **SYNCROOM Driver**で録音できない、配信に音が乗らない。

A.ドライバの不具合が考えられます。**SYNCROOM**をアンインストールしてから再インストールしてください

Q.MacOSではドライバが無いので、配信に**SYNCROOM**の音を乗せることが出来ません。

A.[次項](#)の情報を元に音声のルーティングを**頑張ってください**

5.MacOSの音声ルーティング例

Macの場合Windowsとは異なり、Yamaha SYNCROOM Driverを使用できません

WindowsではYamaha SYNCROOM Driverを使用することで手軽に録音や配信を行うことができますが、Macで同じような用途で使用する為には音声ルーティングが必要になります。

使用環境は個々人で異なりますので、各々の環境に応じた設定が必要になります。

NETDUETTO時代の参考情報になりますが[沢渡香澄@kasumi_sawatari](#)さんより提供頂きました実績のある設定例を掲載します。

◆設定例1.

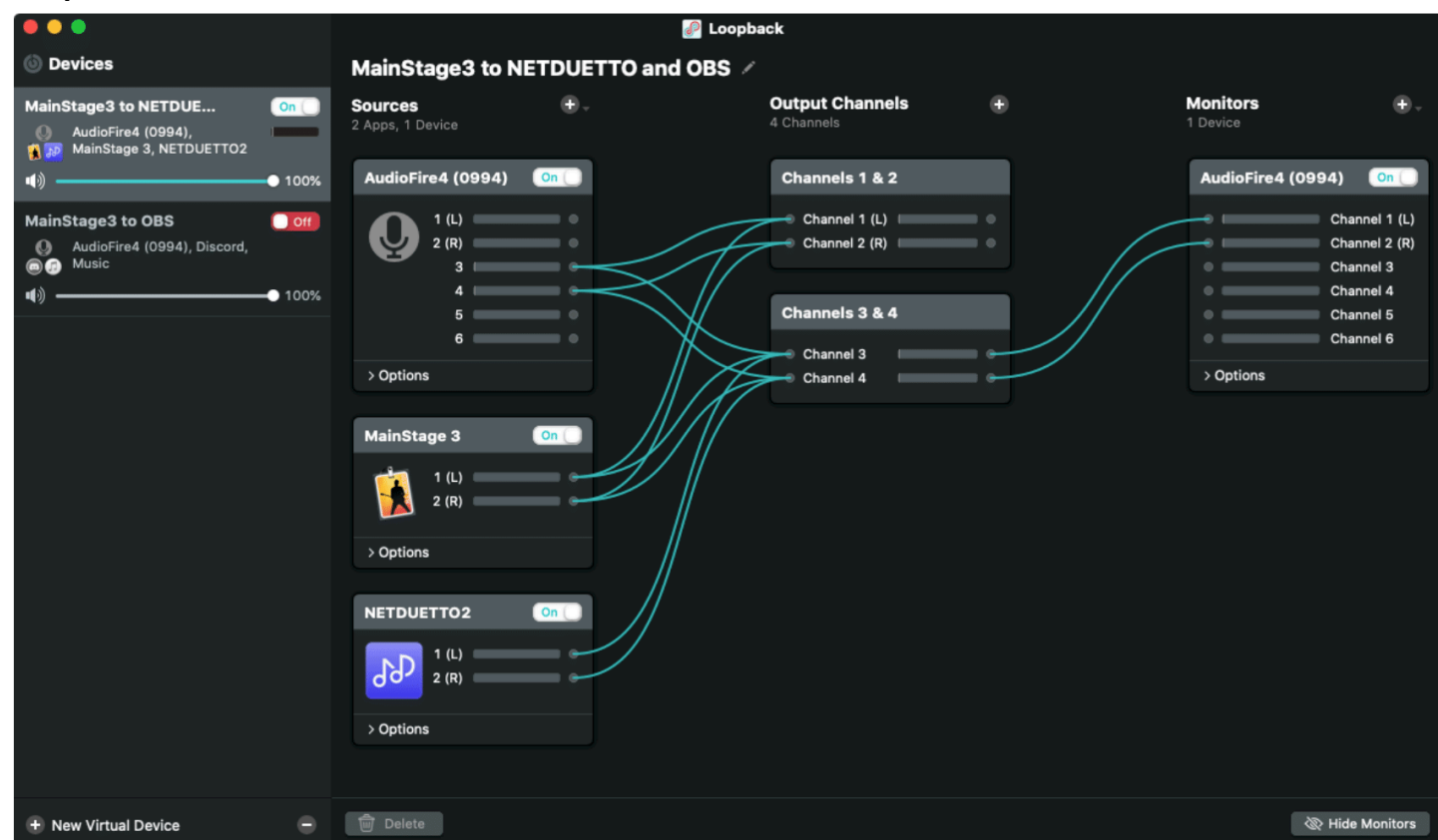
使用ハードウェア

- Apple Mac mini (2018)
- オーディオ / MIDI インターフェイス ECHO AudioFire4
- MIDI キーボード
- マイクホンアンプ audio-technica AT-MA2

使用ソフトウェア

- YAMAHA NETDUETTO β2 v2.1.0 for macOS
- ソフトウェアシンセサイザー Apple MainStage3 ver.3.4.4
- RogueAmoeba Loopback ver.2.1.4

LoopBack の設定



Sources は上から順にマイク、ピアノ、room からの音です。

(AT-MA2 は AudioFire4 の入力 3,4 へ接続しています。)

OutputChannels は 1,2 が room へ返す音、3,4 がモニター & 配信用です。

room からの音を room へ返さないように注意します。

NETDUETTO の 設定

オーディオデバイスを **CoreAudio** に、入力を **LoopBack** で保存した設定名に、
入力 ch を **roomへ返す音**にそれぞれ設定します。

参考

- Apple MainStage3 <https://www.apple.com/jp/mainstage/>
- RogueAmoeba Loopback <https://rogueamoeba.com/loopback/>

◆設定例2.

Soundflower 及び LadioCast を使用した例

サウンドの設定

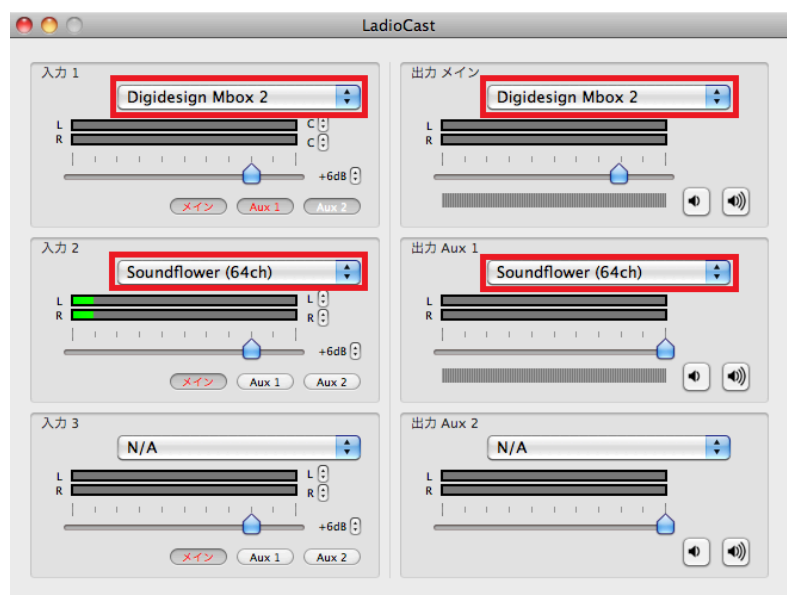


入力「Soundflower (64ch)」



出力「NETDUETTOで使用するデバイス」

LadioCastの設定



入力1「NETDUETTOで使用するデバイス」 出力メイン「NETDUETTOで使用するデバイス」

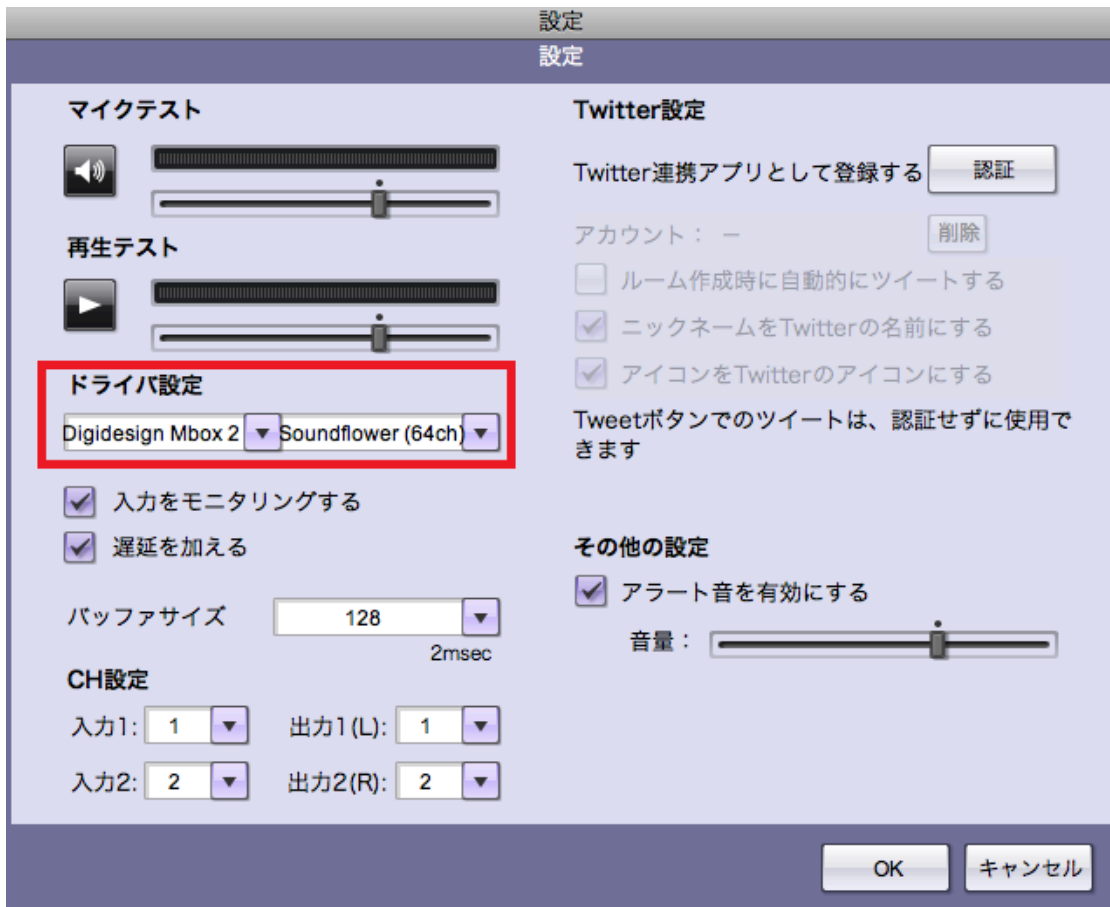
(メイン) (Aux 1) 押下

入力2「Soundflower (64ch)」

出力Aux 1「Soundflower (64ch)」

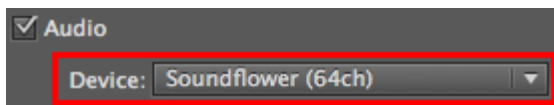
(メイン) 押下

NETDUETTOの設定



入力「NETDUETTOで使用するデバイス」 出力「Soundflower (64ch)」

配信ツール側の設定



オーディオデバイス「Soundflower (64ch)」

以下の情報も併せて見ていただけると非常に参考になると思います。

・[スナック かすみ](#)

ニコニコ生放送で実際にMac版NETDUETTOを使用した配信を行っているコミュニティ
充実したQ&Aも掲載されている。

6.関連リンクやTips等

・よくあるご質問

公式のFAQ、なにか分からないことがあったらココを確認。

・ヤマハ SYNCROOM(シンクルーム) IBNETDUETTO

公式のツイッターアカウント、SYNCROOMに関する情報やTipsを発信しています。

・遅延の目安

接続環境	数値
ASIO、Mac同士	15～40msec程度(環境、相性による)
ASIO⇄DirectSound	60msec以上
DirectSound同士	100msec前後
回線速度不足	数百msec～数千msec

ニコ生セッション♪関連 ※2015年11月26日を以てサービスを終了致しました。

・ニコ生セッション♪

公式の紹介ページ、概要がまとめられている

・ニコ生セッション♪とは

ニコニコ大百科内の記事、仕組みやコツ、ノウハウ等も掲載されている

・ニコ生セッション♪の利用方法

ニコニコヘルプ内の回答、具体的な方法が画像付きで紹介されている

・Twitter:ニコ生セッション♪

セッションをしている放送が開始されたら自動で通知してくれるbotアカウント、フォロー推奨

・ニコ生セッションQ&A

有志によって作成されたページ、他にはないピンポイントな情報もあるので一読推奨

・ニコ生セッション♪は設定に手間取る事が多いため、テスト配信の際は極力コミュ限を避けること。

・Mac(IF有り)でニコ生セッションする一番手っ取り早い方法

- 1, NETDUETTOで使用するデバイスはIFに設定 モニタリングもIF
- 2, IFのLineOutからMac本体のLineInに繋ぐ(RCA(LR)-Y-ステレオミニ)
- 3, 放送の音声デバイスを内蔵設定

7.困ったときにお読み下さい

■設定時

- ・設定画面のドライバ設定にオーディオIFが表示されない
IFがASIO非対応。IFのドライバが入っていない(動作していない)等
IFがASIO対応か確認する、非対応の場合は[WASAPI](#)か[ASIO4ALL](#)を使用する
デバイスマネージャ等でデバイスが有効になっていることを確認する
ドライバをインストールする(入っていない場合)
オーディオデバイスの電源オフ/オン、ケーブルの抜き差し
SYNCROOM、PCを再起動する
SYNCROOMを再インストールする

■ルーム作成、入室時

- ・接続できたり、接続できなかったりする
少し待ってから再挑戦、通信設定を帯域優先にしてみる、ルータやPCを再起動してみる。
- ・複数の人と接続する時、一部の人と繋がらない
回線速度が足りていない、相手と回線(プロバイダ)の相性が悪い等
ルームの再作成や入退室を何回か試す。通信設定を帯域優先に変えてみる。
- ・デバイスの開始に失敗しました という表示が出る
デバイスの設定が間違っている、ドライバの異常等
オーディオデバイスのサンプリング周波数が44.1kHzでない場合44.1kHzに設定する
オーディオデバイスの電源オフ/オン、ケーブルの抜き差しを実施しSYNCROOMを再起動する
Skype等のオーディオデバイスを使用しているアプリケーションがある場合それらを終了する
PCを再起動する
USBハブなどにオーディオデバイスを接続している場合、直接PCのUSBポートに接続してみる
または、別のUSBポートに接続してみる、
オーディオデバイスのドライバの再インストールをしてみる

■セッション時

・音が出ない、聞こえない(WASAPI使用時)

WASAPIの設定が間違っている等

WASAPI SettingsのInputとOutputのデバイスが正しいか確認する

オーディオデバイスのバッファサイズを上げてみる

Skype等のオーディオデバイスを使用しているアプリケーションがある場合それらを終了する

WASAPIで使用するオーディオデバイスのサンプリング周波数を44.1kHzにする

・音が出ない、聞こえない(ASIO対応デバイス使用時)

デバイスの設定が間違っている、ドライバの異常等

オーディオデバイスのサンプリング周波数が44.1kHzでない場合44.1kHzに設定する

オーディオデバイスの電源オフ/オン、ケーブルの抜き差しを実施しSYNCROOMを再起動する

オーディオデバイスのバッファサイズを1つずつ上げる

Skype等のオーディオデバイスを使用しているアプリケーションがある場合それらを終了する

PCを再起動する

USBハブなどにオーディオデバイスを接続している場合、直接PCのUSBポートに接続する

または、別のUSBポートに接続する。オーディオデバイスのドライバの再インストールする

・音が途切れる

PCやオーディオデバイスの性能限界、回線速度不足等

ROOM→詳細情報→バッファサイズを上げてみる

オーディオデバイスのバッファサイズを上げてみる

通信設定を帯域優先に変えてみる

・ハウリングが起きる

マイクとスピーカー、ヘッドフォンの距離を離す。

・自分(相手)から声が返る

ステレオミキサー等を有効になっている。

OSのステレオミキサーを無効にする

配信ツールのステレオミキサーを無効にする(スピーカーキャプチャ等)

オーディオデバイスのステレオミキサーを無効にする(ループバック機能等)

・音が二重に聞こえる

オーディオデバイスかSYNCROOM両方のモニタリングが有効になっている。

SYNCROOMとオーディオデバイスの両方のモニタリングが有効になっているため

可能であればオーディオデバイスのダイレクトモニタリングの無効を推奨します

・自分(相手)の音が大きい(小さい)

SYNCROOMとOSのオーディオ設定、オーディオデバイスで調整する

SYNCROOMのマイク入力、ROOMで音量を調整する

オーディオデバイスのレベルやゲイン、モニター等で音量を調整する

OSのオーディオ設定でマイク、スピーカー等の音量を調整する

- ・自分の**ROOM**内のレベルメーターが動かない
SYNCROOMの設定の入力をモニタリングするが無効になっている
自分のROOM内のレベルメーターは設定の入力をモニタリングするが無効の場合、動きません
左上のマイク入力のレベルメーターが動いていれば相手に音声は届いています。

- ・**SYNCROOM**の音の配信(録音)が出来ない
配信(録音)のマイクを「Yamaha SYNCROOM Driver」に設定する
SYNCROOMの音声の配信(録音)にはSYNCROOM Driverが必要です。(Windows)
MacOSの場合Driverが無いためSYNCROOMの音声を配信(録音)するためには
Sound Flower等の仮想音声デバイスとそれらのルーティングが必要になります。
[5.MacOSの音声ルーティング例](#)

- ・**SYNCROOM Driver**が見当たらない
配信(録音)ツール側で認識していない、ドライバが無効になっている、ドライバの異常等
OSのオーディオの設定からYamaha SYNCROOM Driverが有効になっていることを確認する
配信(録音)ツール、PCを再起動する
SYNCROOMを再インストールする

- ・マイクを**SYNCROOM Driver**したのに音が配信(録音)できていない
配信(録音)ツール、SYNCROOM Driverの異常等
SYNCROOM、配信(録音)ツール、PCを再起動する
SYNCROOMを再インストールする

- ・**SYNCROOM**の音声を左右に振ったのに配信(録音)に反映されない
配信(録音)ツールがモノラルになっている
配信(録音)ツールの音声をステレオに設定する

- ・自分の音が配信(録音)時に**L(R)**側のみに入力される
マイクがステレオ仕様じゃない、オーディオデバイスのInput端子がL(R)のみの対応である等
ステレオマイクを使用する、モノラル→ステレオ変換プラグアダプターを使う
オーディオデバイスのMONO機能等を使う
SYNCROOMの設定の入力をモニタリングするを有効にする

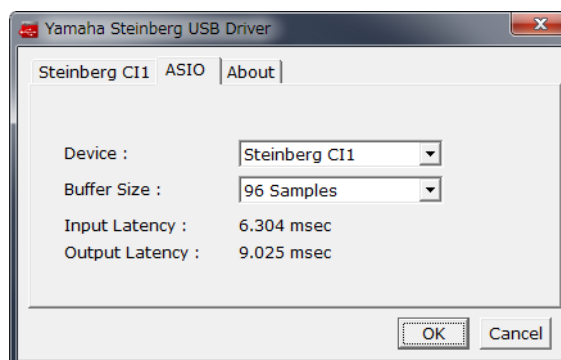
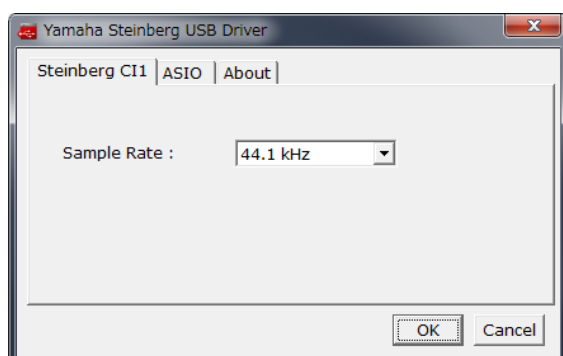
■その他

- ・規定のアイコン以外に変える方法
Twitter連携機能を使用して下さい。

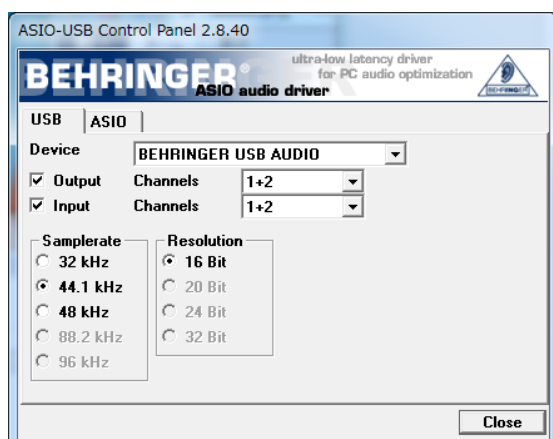
付録.各メーカー毎のコントロールパネル表示例

※製品名をクリックで製品ページへアクセスできます。

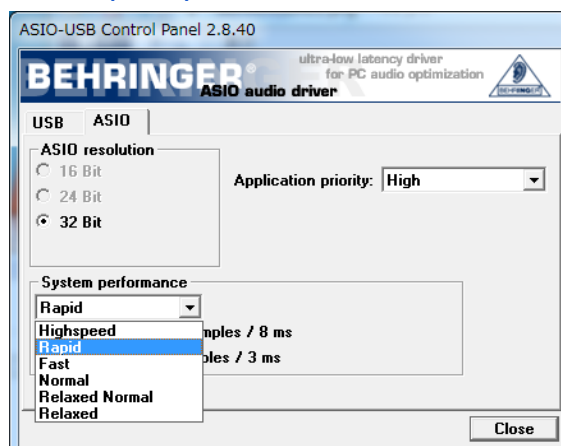
[Steinberg CI1](#) [ドライバ](#)



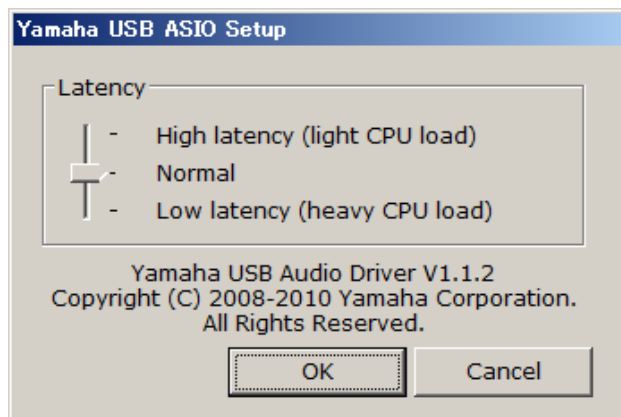
BEHRINGER USBミキサー全般 [ドライバ\(64bit\)](#)



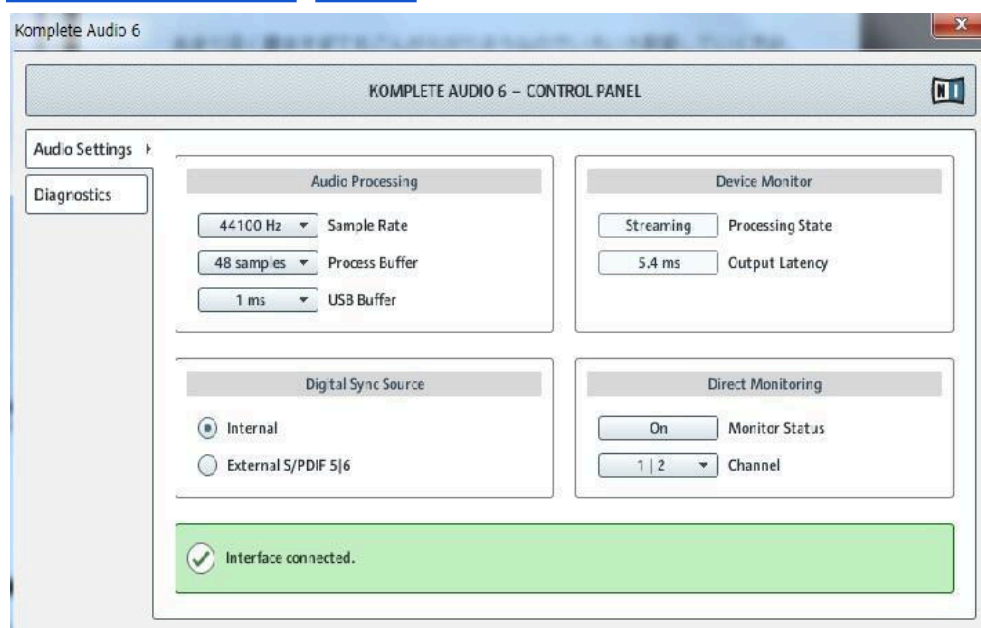
[ドライバ\(32bit\)](#)



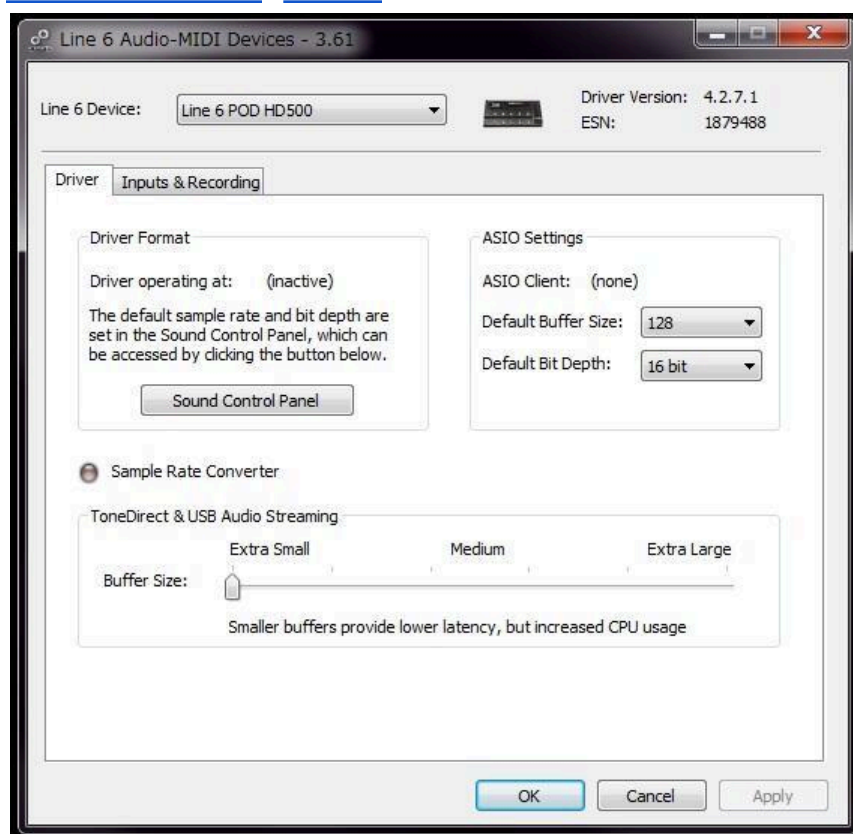
YAMAHA [AUDIOGRAM](#)、[MW Series](#) [ドライバ](#) ※音楽制作→AUDIO/MIDIインターフェース→該当製品

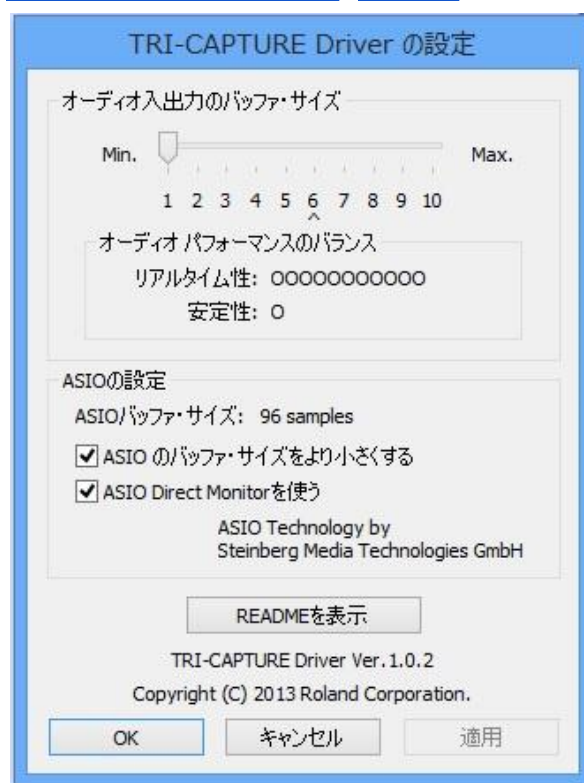
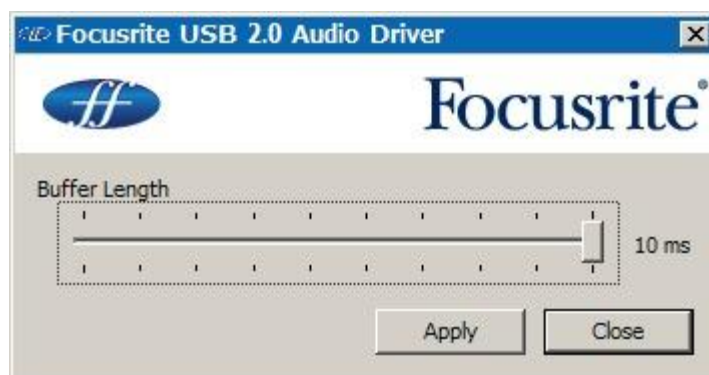


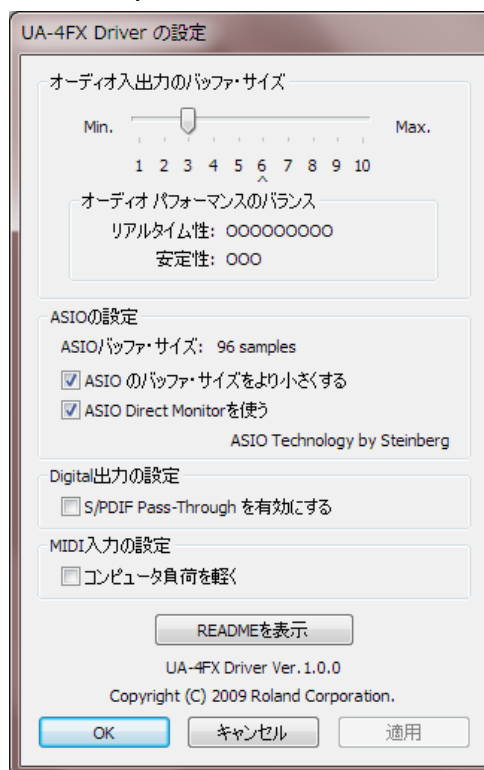
KOMplete AUDIO 6 ドライバ

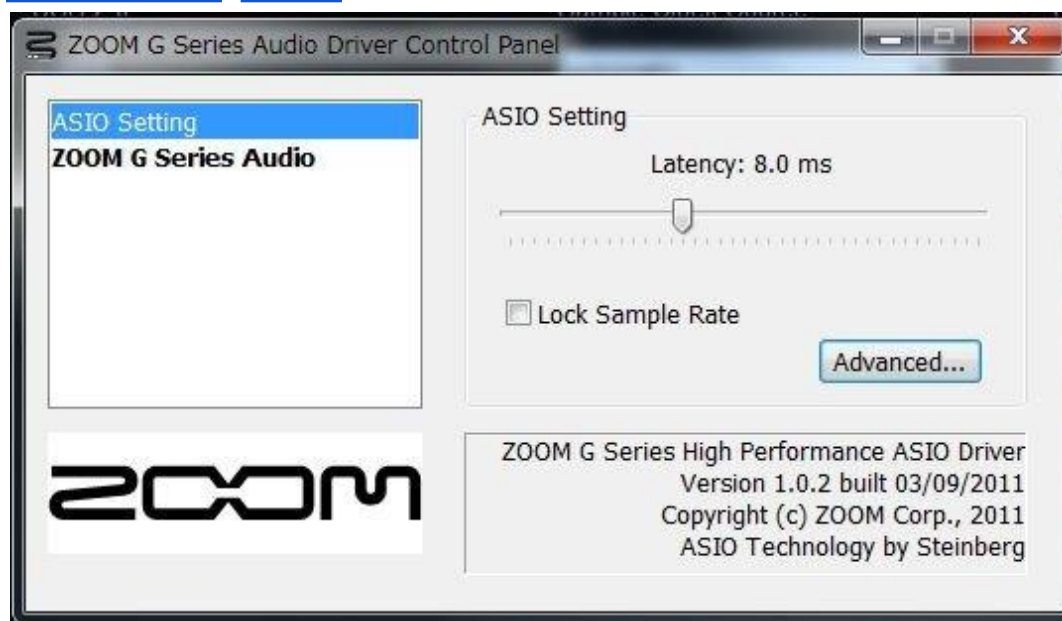


Line 6 POD HD500 ドライバ



ROLAND QUAD-CAPTURE ドライバROLAND TRI-CAPTURE ドライバFocusrite USBオーディオインターフェース ドライバ

ROLAND [UA-3FX ドライバ](#)、[UA-4FX ドライバ](#) (共に販売終了)E-MU [Digital Audio Systems](#) [USB Audio/MIDI Interfaces](#) [ドライバ](#)

ZOOM G Series ドライバTASCAM US-322 ドライバ、US-366 ドライバ